

## 2022年度教員採用試験(2023年度採用)一次試験合格者数速報!

今年度の教員採用試験は、外国語学部日本語学科及び英米語学科の4年生19人と卒業生9人が受験し、17人が一次試験に合格しました。都縣市別の一次試験合格者数は下表のとおりです。

受験地	校種・教科	受験者数	現役生 合格者数	卒業生 合格者数	合格者数計
千葉県	中高・国語	3	1	-	<b>1</b>
	中高・英語	11	5	3	<b>8</b>
東京都	中高・国語	1	0	-	<b>0</b>
	中高・英語	7	4	2	<b>6</b>
埼玉県	中学・英語	1	-	1	<b>1</b>
群馬県	中学・英語	1	1	-	<b>1</b>
茨城県	中学・英語	1	-	0	<b>0</b>
川崎市	中高・国語	1	0	-	<b>0</b>
新潟県	中高・英語	1	-	0	<b>0</b>
名古屋市	高校・国語	1	0	-	<b>0</b>
合 計		28	11	6	<b>17</b>

これまで教職課程センターでは、一次試験対策として教職教養・一般教養問題ビデオ講座を始め、専門教科講座や模擬集団面接・集団討論など地域に応じた対策講座を実施してきました。

二次試験対策では、各地区の試験に応じて日本語での個人面接や集団面接、集団討論、模擬授業に向けて、本番さながらの面接や模擬授業の練習を行いました。実技試験である英語リスニングテスト(東京都)や英語による面接(千葉県、東京都)、模擬授業(千葉県)対策では、MLACCからPatrizia Hayashi教授とTyson Rode准教授の多大なる協力のおかげで、試験直前まで受験者一人ひとりに応じたきめ細やかな練習を行うことができました。

### <試験後の学生の感想から>

○大学で手厚く指導して下さったので、教室に入る前までは緊張していましたが、教室に入ってしまうとあとはやるしかないと思い切りました。

○集中力を切らさずに、最後まで取り組めたのでやりきることができたと思います。

○予定したところまで模擬授業が進められなかったり個人面接ではもっとこう話せばよかったと思うところもありますが、沢山練習してきたからこそ緊張したり思っていた状況と違って自分がやってきたことが出せたのだと思います。一次試験から約2か月間、こんなに遊ばずに毎日大学に通った夏休みは初めてでした。先生方も夏休みを削って毎日練習に付き合ってください、本当にありがとうございました。

○(英語実技では)想定外のブリティッシュ・イングリッシュで話されて難しいと感じたが、練習を積み重ねたおかげで、頑張ってきた成果を出せました。